

インドネシア・スラバヤ市との「両市職員による現地ごみ問題解決ワークショップ」 全体概要

1 経緯・目的

本市とインドネシア共和国スラバヤ市の環境姉妹都市締結10周年記念事業として、両市職員による課題解決ワークショップを実施するもの。

本ワークショップでは、スラバヤ市が掲げる喫緊の廃棄物処理課題5点（廃棄物の減量化（市場ゴミの処理を含む）、分別残渣の処理、電化製品の処理、粗大ごみの処理、医療廃棄物の処理）の解決に向け、両市職員で解決策を検討・提案することで、新規事業創出に繋げるとともに、職員同士の交流によりさらなる関係強化を目指すもの。

2 ワークショップの流れ

(1) 事前情報共有

両市の現状の処理方法をフォーマットにまとめ、互いに共有する。

(2) 第1回ワークショップ（スラバヤ市とオンライン接続）

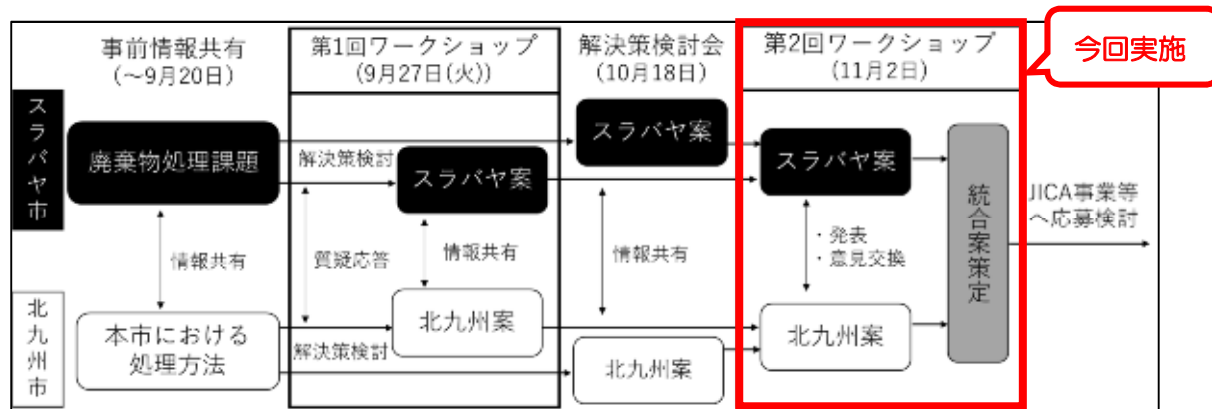
質疑応答を通し課題について詳細に理解し、解決策検討手法について共有した後、1課題について解決策の検討を実施する。

(3) 解決策検討会

残りの課題について、両市それぞれで検討し、第2回ワークショップまでに互いに共有する。

(4) 第2回ワークショップ（スラバヤ市とオンライン接続）

両市が作成した案について発表・意見交換し、実現可能性の高い課題について統合案を策定する。統合案は JICA 事業等の資金獲得を検討し、事業化を目指す。



ワークショップ全体フロー図

3 参加者（敬称略）

(1) スラバヤ市

市職員（環境局、衛生局、都市開発局、国際交流局）

(2) 北九州市

ア 環境局職員（循環社会推進課、業務課、環境イノベーション支援課、産業廃棄物対策課）

イ アジア低炭素化センター（IGES、KITA、環境国際戦略課）